

## Your Library

立教大学図書館だより No.34 | 2015.09.28 AUTUMN ISSUE | ISSN 1883-1303

読書ナビ

千住 一准教授

観光学部

読書  
ナビ

第49回

## 観光社会学という試み

観光学部准教授 千住 一



- 『幻影(イメージ)の時代: マスコミが製造する事実』 ダニエル・J・ブーアスティン著(東京創元社 1964年)
- 『ザ・ツーリスト: 高度近代社会の構造分析』 デイーン・マキアーネル著(学文社 2012年)
- 『観光のまなざし』 ジョン・アーリ、ヨナス・ラースン著(増補改訂版 法政大学出版局 2014年)
- 『観光化する社会: 観光社会学の理論と応用』 須藤廣著(ナカニシヤ出版 2008年)
- 『ニッポンの海外旅行: 若者と観光メディアの50年史』 山口誠著(ちくま新書 2010年)
- 『n次創作観光: アニメ聖地巡礼/コンテンツツーリズム/観光社会学の可能性』 岡本健著(北海道冒険芸術出版 2013年)
- 『エコツーリズムの民族誌: 北タイ山地民カレンの生活世界』 須永和博著(春風社 2012年)
- 『観光という「商品」の生産: 日本〜ベトナム 旅行会社のエスノグラフィ』 鈴木涼太郎著(勉誠出版 2010年)
- 『よくわかる観光社会学』 安村克己・堀野正人・遠藤英樹・寺岡伸悟編著(ミネルヴァ書房 2011年)
- 『観光社会学のアクチュアリティ』 遠藤英樹・堀野正人編著(晃洋書房 2010年)

今日において、観光を抜きに社会のありようを十分に理解することは難しい。昨今の日本においても、震災復興や地方創生の手がかりとしての観光や、国策としての訪日外国人誘致など、我々の生きる社会が観光と深い関係にあることを実感させられる機会は少なくない。観光社会学はそうした社会のありようを考察する試みであり、近年、その進展が著しい。

観光社会学の理論的な展開は、1における議論が嚆矢とされる。ブーアスティンはそこで「疑似イベント」という概念を用い、観光を疑似イベント消費の一行為と位置づけた。それに対して2は、ツーリストは「真正性」を求めており、そのような願望に呼応して「演出された真正性」が成り立つと主張する。3は、「まなざし」という概念を援用して一連の議論を転回し、ツーリストが観光対象に向ける視線は社会的に構築されたものであるとした。

次に実証的な観光社会学の成果であるが、4は、国内外の観光現象

を社会的観点から解釈することを通じ、文字どおり社会が「観光化」しているとする。5は、旅行記やガイドブックといったメディアを手がかりに、戦後日本の海外旅行のありようを明らかにした。6は、近年話題の「アニメ聖地巡礼」を取り上げたものであり、その多層構造を社会的に分析する。7と8は近接領域たる観光人類学の成果ではあるが、前者はタイ北部の少数民族村で、後者は日本国内の旅行会社で実施された参与観察にもとづく良質なエスノグラフィである。

こういった観光社会学の営みに興味を持った初学者には、まず9をすすめたい。これは観光社会学で多用されるコンセプトやトピックを概説したもので、事典的な使い方が可能である。次に、観光社会学の論考が多く収められている最近の論文集として、10を紹介しておきたい。ここで近年における観光社会学をめぐる動向や問題設定の概要をひととおり理解しておけば、上記の各書物に接した際の理解はより一層深まろう。

## [Information]

## 展示コーナー [池袋図書館 B1F、新座図書館 1F]

立教大学図書館では、歴史ある貴重な資料を所蔵しています。それらの資料を解説つきで、池袋図書館・新座図書館の展示コーナーで順次ご紹介しています。それぞれの資料が持つ背景を知り、魅力を感じてみませんか? ぜひお立ち寄りください。

## &lt;現在展示中の資料&gt;

※8月～10月まで展示予定

池袋: 西洋世界の辞書/新座: 斎藤茂吉『源実朝』草稿展示

\*過去の展示資料は、図書館ウェブサイトでご確認いただけます。

トップページ→貴重書・文庫→展示作品

<http://library.rikkyo.ac.jp/archives/exhibition/>

Your Library 第34号(通号93) 発行日 2015年9月28日

編集 小林 憲太郎(図書館副館長) <http://library.rikkyo.ac.jp/>

発行人 豊田 由貴夫(図書館長)

連絡先 TEL 03-3985-2628

発行 立教大学図書館

印刷 立教プリンティングステーション

知って得する  
図書館デジタルツール

# 知って得する図書館デジタルツール



スマートフォン版

**立教大学 図書館**

探す・調べる 図書館を利用する 学修支援 教育支援 図書館の紹介 校友学外者の利用 お問い合わせ

**OPAC**  
 図書館の所蔵資料を調べるには、まずOPACを利用するのが基本です。学内には無い本でも『山手線コンソーシアム検索』をすれば、都内8大学(青山学院・学習院・國學院・東洋・法政・明治・明治学院・立教)の所蔵を調べることができます。タブを切り替えれば、日本の論文(Cinii Articles)・全国大学図書館の資料の所蔵確認(Cinii Books)等の検索も可能です。

**My Library**  
 借りている本の返却期限を確認したり、貸出延長手続き、文献複写申込み、レファレンス申込みなどを行うことができる個人ポータルです。

**デジタル・ライブラリー**  
 立教大学が所蔵する貴重書等の一部がデジタル化されています。「竹取物語絵巻」や「ルソー主要作品」など、貴重な作品を見ることができます。

**ツイッター**  
 フォローはこちら: @rikkyo\_lib  
 図書館の最新情報がタイムリーにツイートされます。

**開館カレンダー** 図書館の開館時間を確認できます。

**My Library**  
 借りている本の返却期限を確認したり、貸出延長手続き、文献複写申込み、レファレンス申込みなどを行うことができる個人ポータルです。

**デジタル・ライブラリー**  
 立教大学が所蔵する貴重書等の一部がデジタル化されています。「竹取物語絵巻」や「ルソー主要作品」など、貴重な作品を見ることができます。

**ツイッター**  
 フォローはこちら: @rikkyo\_lib  
 図書館の最新情報がタイムリーにツイートされます。

**立教Roots (機関リポジトリ)**  
 論文や紀要をはじめとする立教大学で生み出された研究・教育成果を公開しています。

**立教大学 図書館**

探す・調べる 図書館を利用する 学修支援 教育支援 図書館の紹介 校友学外者の利用 お問い合わせ

**OPAC**  
 図書館の所蔵資料を調べるには、まずOPACを利用するのが基本です。学内には無い本でも『山手線コンソーシアム検索』をすれば、都内8大学(青山学院・学習院・國學院・東洋・法政・明治・明治学院・立教)の所蔵を調べることができます。タブを切り替えれば、日本の論文(Cinii Articles)・全国大学図書館の資料の所蔵確認(Cinii Books)等の検索も可能です。

**My Library**  
 借りている本の返却期限を確認したり、貸出延長手続き、文献複写申込み、レファレンス申込みなどを行うことができる個人ポータルです。

**デジタル・ライブラリー**  
 立教大学が所蔵する貴重書等の一部がデジタル化されています。「竹取物語絵巻」や「ルソー主要作品」など、貴重な作品を見ることができます。

**ツイッター**  
 フォローはこちら: @rikkyo\_lib  
 図書館の最新情報がタイムリーにツイートされます。

**オンラインデータベース**  
 電子ブック(eBook)や電子ジャーナルだけでなく、新聞や音楽まで多種多様なデータベースが揃っています。データベースによっては学外からの利用も可能です。自宅に居ながら信頼性の高い情報を入手することができます。

**RefWorks**  
 レポートを作成する際に利用すると便利なツールです。オンラインデータベース、電子ジャーナル、OPACなどオンライン上で収集した情報を個人専用のプラットフォームに蓄積し、それらの情報から論文の参考文献リストを作成したり、情報を共有したりできます。

スマートフォン版

**立教大学 図書館**

探す・調べる 図書館を利用する 学修支援 教育支援 図書館の紹介 校友学外者の利用 お問い合わせ

**オンラインデータベース**  
 電子ブック(eBook)や電子ジャーナルだけでなく、新聞や音楽まで多種多様なデータベースが揃っています。データベースによっては学外からの利用も可能です。自宅に居ながら信頼性の高い情報を入手することができます。

**2016年春 ディスカバリーサービス導入予定!**

ディスカバリーサービスとは、ひとつの検索窓から、図書・雑誌・オンラインデータベース・電子ブック・電子ジャーナル等、図書館がもつ全てのリソースを一括で検索し、信頼性の高い情報へ素早くアクセスすることができるシステムです。

**立教大学 図書館**

探す・調べる 図書館を利用する 学修支援 教育支援 図書館の紹介 校友学外者の利用 お問い合わせ

**オンラインデータベース**  
 電子ブック(eBook)や電子ジャーナルだけでなく、新聞や音楽まで多種多様なデータベースが揃っています。データベースによっては学外からの利用も可能です。自宅に居ながら信頼性の高い情報を入手することができます。